

4-4 事業内容

事業1 公共交通ネットワーク維持改善事業

事業1-1 市内路線全体のバス路線網の見直し

【事業設定の背景】

- ・伊東市内のバス路線は、伊東駅、伊豆高原駅を中心に、市内全域を網羅して運行しており、新型コロナウイルス感染拡大の影響がありながらも、これまで運行維持がされてきています。一方、利用者数の回復はコロナ前の8割程度にとどまっており、昨今は運転手不足も深刻化する中、今後は路線維持が危ぶまれる状況です。
- ・そこで、本計画における取り組みとして、需給バランスや今後の運転手の確保の見直しなどを踏まえ、運行維持が可能なバス路線網への見直しを目指します。

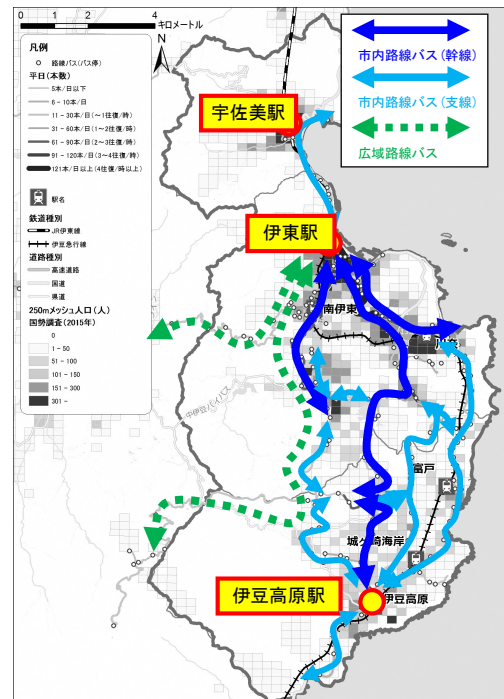
【事業内容、スケジュール、実施主体】

＜事業内容＞

- ・路線バス利用者数の維持、各地域のニーズに対応するため、収支上課題のある路線について運行ルートや運行本数の見直しを検討。
- ・幹線、支線の考え方に基づいた路線や運行本数維持の検討、乗継拠点などを検討。

幹線・支線の考え方

- 幹線：現状の運行本数を将来にわたって維持
- 支線：地域のニーズに対応しつつ、最低限のサービスレベルを維持



＜実施スケジュール＞

- ・計画策定の翌年度、バス事業者と協議の上、見直し案を作成し、2026年度以降に見直し着手を行う。

実施 スケジュール	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	2028年度 (R10)	2029年度 (R11)	2030年度 (R12)
	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■

■ ■ ■ ■ ■ 検討期間 ■ ■ ■ ■ ■ 実施期間

＜実施主体＞

バス事業者、伊東市

事業1-2 市自主運行バスなど収支上課題のある路線の維持・改善検討

【事業設定の背景】

- ・伊東市内の自主運行バス路線は2024年時点で15系統（2023年以前は11系統）運行していますが、収支率は40%程度と採算性に問題を抱えています。運転手不足等で運行維持が困難となる中、今後は路線の廃止等の懸念もあります。
- ・そこで、本計画における取り組みとして、自主運行バス路線の運行効率化（運行ルート、本数等）を行い、市全体のバスネットワークの維持を目指します。

【事業内容、スケジュール、実施主体】

＜事業内容＞

- ・自主運行バス路線の各路線について、利用状況や運行状況を踏まえ、収支率が相対的に低い路線については効率化（運行ルートや運行本数等）を検討、順次実施。

見直しの方向性

- ・自主運行バスの収支率50%を維持（公的負担と利用者負担を同等とする）
- ・利用の少ない便（日中など）のデマンド化や運休、減便や短縮
- ・市域を跨ぐ路線について、隣接市と協議の上、各市の移動ニーズに見合った運行時間帯等への見直し

表7 伊東市自主運行バス路線の収支状況の推移（再掲）

	2019年度 令和元年度	2020年度 令和2年度	2021年度 令和3年度	2022年度 令和4年度	2023年度 令和5年度
系統数	11				
年間利用者数（人）	223,066	156,504	193,805	173,783	227,961
経常収益（円）	46,801,725	30,001,666	42,559,965	36,248,442	51,100,467
経常費用（円）	82,285,744	87,351,381	89,520,970	88,385,290	91,386,177
損益（円）	-35,484,019	-57,349,715	-46,961,005	-52,136,848	-40,285,710
収支率（%）	56.9%	34.3%	47.5%	41.0%	55.9%

＜実施スケジュール＞

- ・計画策定の翌年度、バス事業者と協議の上、見直し案を作成し、2026年度以降に見直し着手を行う。

実施 スケジュール	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	2028年度 (R10)	2029年度 (R11)	2030年度 (R12)
	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
	■■■■■■ 検討期間 ■■■■■■ 実施期間					

＜実施主体＞

バス事業者、伊東市

事業1-4 バス、タクシーの運転手確保に向けた取組み

【事業設定の背景】

- ・バスやタクシーの運転手確保は全国的に喫緊の課題であり、官民連携で取り組む必要があります。
- ・本計画における取組みとして、バス事業者、タクシー事業者が進める採用活動に協力し、広報誌等での魅力の発信、説明会の共同開催、就業環境の向上などを目指します。

【事業内容、スケジュール、実施主体】

<事業内容>

- ・移住者向けのイベントや企業出展。
- ・バス運転手の低賃金を是正。
- ・地元高校と連携した人材確保の可能性検討。
- ・広報誌を活用した乗務員の確保、事業者と共同説明会の開催。
- ・市の広報にバス、タクシー事業者の乗務員募集に関する内容の掲載。
- ・就業環境の向上（営業所等の環境改善）。

バスやタクシーの運転手の確保に関する取組み例



バスドライバーnavi 2017秋 入場無料

どらなびEXP2017秋

東京会場

2017年10月14日(土) 11:00～最終受付17:00
11:30～17:30

新宿エルタワー30階 サンスカイルーム
東京都新宿区西新宿1-6-1 新宿エルタワー

主催：公益財団法人東京しごと財団
一般社団法人東京ハイヤー・タクシー協会
支援事業タクシー事務局（アデコ株式会社）

名称：タクシー業界合同企業説明会 2017秋

会期：2017年11月18日（土）12:00-17:00

会場：新宿エルタワー 30F 東京都新宿区西新宿1-6-1

主催：公益財団法人東京しごと財団
一般社団法人東京ハイヤー・タクシー協会
支援事業タクシー事務局（アデコ株式会社）

入場料：無料

開催規模：25社/団体

<実施スケジュール>

- ・計画策定の翌年度、各種取組みを実施する。

実施 スケジュール	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	2028年度 (R10)	2029年度 (R11)	2030年度 (R12)

..... 検討期間 実施期間

<実施主体>

バス事業者、タクシー事業者、伊東市

事業2 交通空白地域解消事業

事業2-1 交通空白地域での地域交通確保の取り組み

【事業設定の背景】

- ・本市の鉄道やバスによる人口カバー率は70%程度であり、別荘地や分譲地を中心に、バスでカバーされていない地域が点在しています。
- ・前計画策定後、これらの地域での移動手段確保の取り組みを行ってきましたが、本格実施には至っておらず、引き続き検討を進める必要があります。
- ・そこで、本計画における取り組みとして、事業2-2と連携し、交通空白地域での地域交通確保を目指します。

【事業内容、スケジュール、実施主体】

＜事業内容＞

- ・要望のある地域や別荘地、分譲地において、既存の移動手段（バス、タクシー）に加え、新たな事業補助や地域の輸送資源（住民主体の移動手段、地域の施設の所有する車両など）を活用した移動手段を検討、実施する。
- ・また、このような取り組みに対し積極的な支援を行っていく。
- ・伊東市の特性（高低差等）を踏まえた不便地域の可視化を行い、民間事業者の参入を含め、不便地域での移動手段確保に向けた活動を展開する。

多様な地域公共交通（地域公共交通計画等の作成と運用の手引き(入門編)）



＜実施スケジュール＞

- ・計画策定の翌年度以降、地域と市で協議、検討を行い、方向性の定まった地域より順次実証運行等を実施する。

実施 スケジュール	2025 年度 (R7)	2026 年度 (R8)	2027 年度 (R9)	2028 年度 (R10)	2029 年度 (R11)	2030 年度 (R12)
	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■
		■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■

■■■■■ 検討期間 ■■■■■ 実施期間

＜実施主体＞

地域住民、バス事業者、タクシー事業者、伊東市

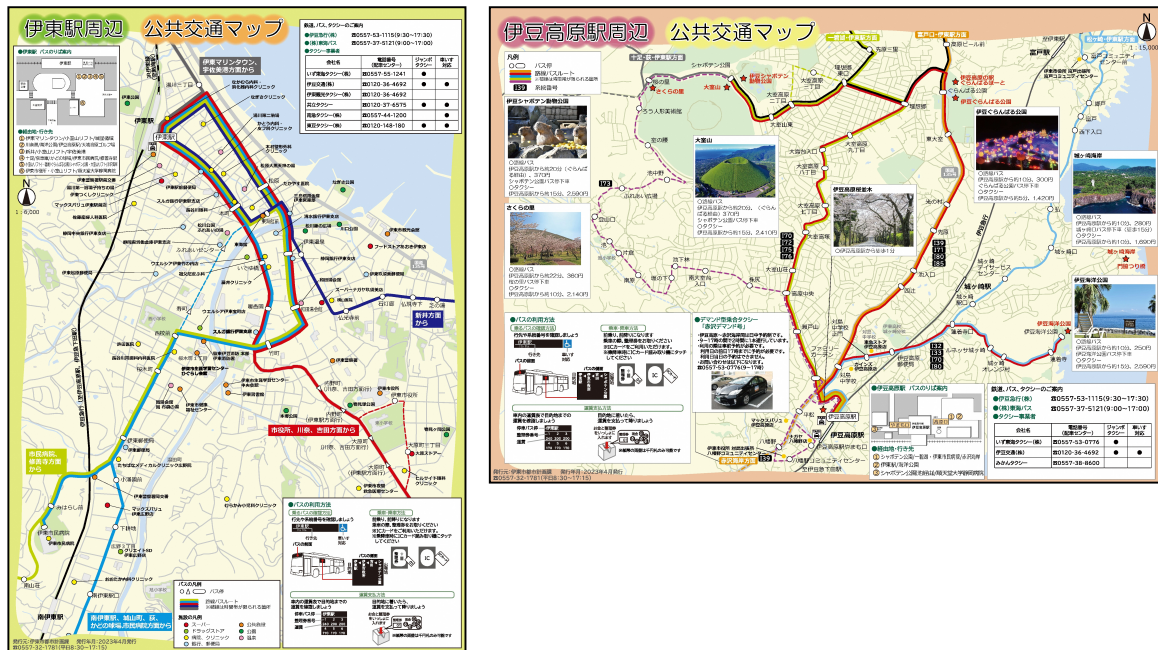
- ・事業2-1で示す通り、今後も交通空白地域での移動手段確保の検討を実施しますが、移動手段の確保に向けて、地域住民や市、交通事業者の役割分担、検討の手順等は体系化されていないのが現状です。
- ・そこで、本計画における取り組みとして、交通空白地域での移動手段確保、維持に向けた検討の流れ、役割分担を体系化することを目指します。

- ・他市での地域交通導入の手引き等を参考に、伊東市版の地域交通導入・維持に向けた仕組み（ガイドライン）を策定する。
- ・これを積極的に支援する補助スキームの構築。

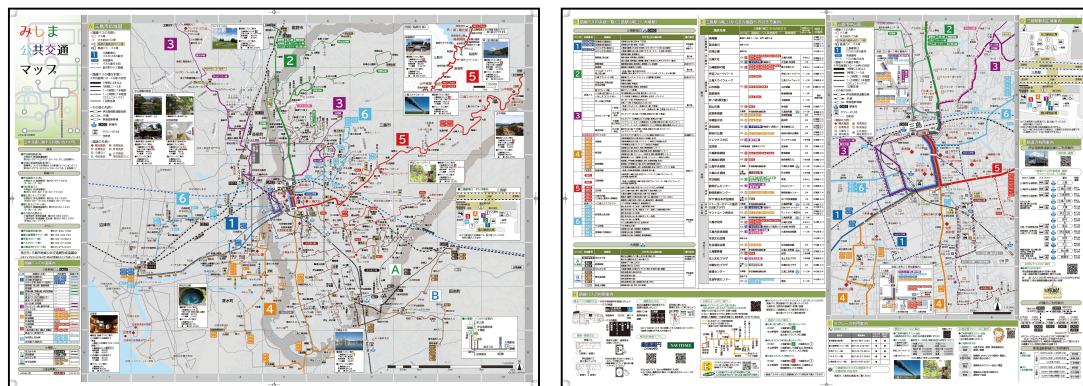
運行ルート、バス停設置の合意形成

バスの運行には賛成でも人目が気になる等の理由からバス停設置の合意が得られない場合があります。バス運行による効果やバス停設置場所の選定理由を丁寧に周知し、理解を得ることが必要です。

伊東市で作成している公共交通マップ（伊東駅、伊豆高原駅）



市全体の公共交通マップの作成例（三島市）



東海バスでのICカード、バスロケーションシステムの案内チラシ

乗る時

前扉から乗車

カード読取部は、**バス乗降口左側**

1秒タッチ

IC CARD

ピッ!

降りる時

カード読取部は、**運賃箱上部**

1秒タッチ

IC CARD

ピッ!

前扉から降車

今いるバス停に向かってのバスの接近・位置情報を簡単表示!

TB 東海バスのバスロケーションサービス

が、さらに使いやすくなりました!

新たなサービス

バス停のQRコードをスマートフォンで読み取るだけで、そのバス停に向かってのバスの接近・位置情報がわかります!

ココにあります!

① バス停の時刻表の右にあるQRコードをスマートフォンで読み取るだけで...

アプリをダウンロード

② 今いるバス停に向かってのバスの運行状況がわかる!

確認することもできる!

③ 接近情報を地図で確認することもできる!

(小学生を対象としたモビリティ・マネジメントの例)

- ・ 鉄道やバスの利用方法を調べ、実際に校外学習等を通じて学び、共有する。

モビリティ・マネジメント教育とは

モビリティ・マネジメント教育とは、われわれ一人ひとりの移動手段や社会全体の交通流動を「人や社会、環境にやさしい」という観点から見直し、改善していくために自発的な行動を取れるような人間を育成することを目指した教育活動を意味します。



教育理念



寿照寺前バス停でバスを待つ様子



湘南台駅で切符を購入する様子



児童が作成した切符の買い方



湘南台駅の改札を通行する様子



時刻表で自分の乗る電車を確認する様子

校外学習の様子

※神奈川県藤沢市の実施例

(中学校、高校を対象としたモビリティ・マネジメントの例)

- ・ 自動運転バスなどの先進技術を現場で学ぶ。



遠隔監視システムの説明



自動運転バスがやってきました



自動運転バス運転手に質問



隈研吾設計建造物の見学 (S-ブランド)

※茨城県竜ヶ崎市の実施例

出典：交通エコロジー・モビリティ財団（モビリティ・マネジメント教育（交通環境学習）ポータルサイト）

事業3-3 タクシー配車アプリ、車両有効活用に関する検討

【事業設定の背景】

- ・ 昨今、全国的にタクシーの配車アプリが普及しており、県外来訪者が気軽にタクシーを利用できるよう、本市のタクシー事業者においても導入が求められます。一方、導入経費や運転手の習熟など、導入に向けてのハードルも高く、昨今は運転手不足の中、新規の利用者獲得が難しい状況でもあります。
- ・ このような状況の中、観光面でのタクシーの利便性向上、車両の有効活用について検討を進めていく必要があり、本取り組みを設定します。

【事業内容、スケジュール、実施主体】

＜事業内容＞

- ・ 市内タクシー事業者での導入を検討する。
- ・ タクシー事業者へのヒアリングを通して、現在の稼働状況を確認の上、車両有効活用方法について研究する。

＜実施スケジュール＞

- ・ 計画期間を通じて検討とする。

実施 スケジュール	2025 年度 (R7)	2026 年度 (R8)	2027 年度 (R9)	2028 年度 (R10)	2029 年度 (R11)	2030 年度 (R12)
	■	■	■	■	■	■

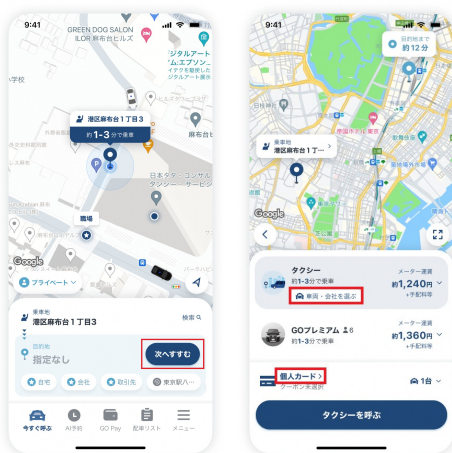
■■■■■■ 検討期間 ■■■■■■ 実施期間

＜実施主体＞

タクシー事業者、伊東市

タクシーアプリの使用方法

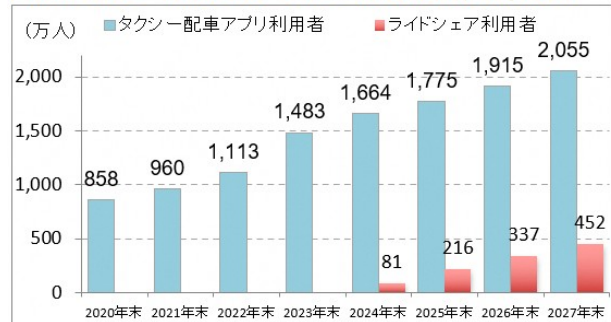
- ①車両を探す ②車両、会社を選ぶ



タクシーGO アプリ HP より

タクシーアプリの利用者数の動向

■表1. タクシー配車アプリ・ライドシェア利用者数 需要予測



※ICT総研による利用者数推計。

※1年以内にアプリを使用して乗車した利用者数(ユニークユーザー数)。

※訪日外国人利用者を含む。

2020年以降、配車アプリ利用者数は増加傾向、今後も増加が続く見込み

ICT総研(2024年 タクシー配車アプリ・ライドシェア利用動向調査より)

事業3-4 地域交通リソースを共有する教育や観光及び高齢者福祉に係る移動サービスとの連携促進

【事業設定の背景】

- ・令和2年の地域公共交通活性化再生法の改正で、既存のバスやタクシーだけでなく、施設送迎で使用する車両の活用など、地域資源の総動員の考え方が示されました。
- ・今後、伊東市においても、地域の輸送資源を把握し、それらの運用の連携と最低化を図ることで、地域交通としての活用を目指します。

【事業内容、スケジュール、実施主体】

＜事業内容＞

- ・市内で送迎車両を有する施設を対象に、稼働状況、地域交通としての活用に関する意向調査を実施（スクールバス、観光輸送、福祉輸送）。
- ・地域住民が主体となる地域交通としての活用（実証運行等でのリソースの提供）を検討。

＜実施スケジュール＞

- ・計画期間を通じて検討とする。

実施 スケジュール	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	2028年度 (R10)	2029年度 (R11)	2030年度 (R12)
	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■

■■■■■ 検討期間 ■■■■■ 実施期間

＜実施主体＞

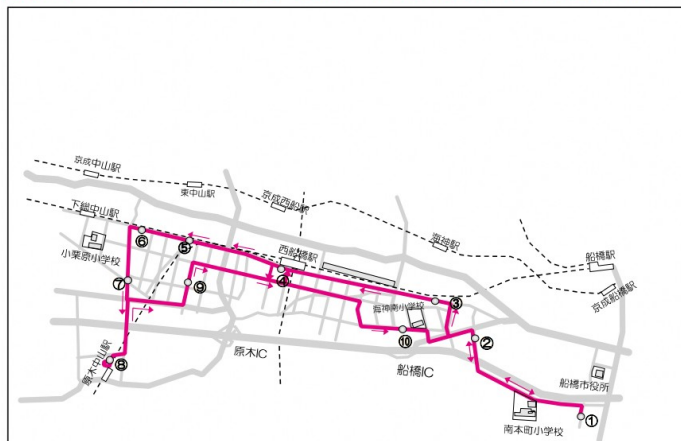
伊東市（及び市内送迎車両保有施設）

地域の施設の車両を活用した移動手段確保の例（千葉県船橋市）

- ・市内在住の65歳以上の方を対象に、自動車教習所利用者の送迎バスで空きがある場合、無料で乗車可能としており、地域の輸送資源を活用した移動手段確保を図っている。



運行団体	ソフィアドライビングスクール船橋
運行ルート	〈西船橋駅・原木中山駅方面〉
運行日	月・火・水・木曜日
運休日	金・土・日曜日、祝休日、運行団体が別に指定する休校日



事業4 新技術活用事業

事業4-1 地域に適する新たなモビリティの導入、情報や予約支払いなどの ICT 活用の検討

【事業設定の背景】

- ・昨今のグリーンスローモビリティや、自動運転技術の活用、ICT 化の進展を受け、低コストで実現可能な支払い方法、予約などの技術の活用が求められます。

【事業内容、スケジュール、実施主体】

＜事業内容＞

- ・地域に適する新たなモビリティの検討。
- ・情報や予約支払いなどの ICT 活用の検討。

＜実施スケジュール＞

- ・計画期間を通じて検討とする。

実施 スケジュール	2025 年度 (R7)	2026 年度 (R8)	2027 年度 (R9)	2028 年度 (R10)	2029 年度 (R11)	2030 年度 (R12)
	■	■	■	■	■	■

■■■■■■ 検討期間 ■■■■■■ 実施期間

＜実施主体＞

バス事業者、タクシー事業者、伊東市

スマホ定期券の事例（富士急シティバス）

バス定期券購入アプリ
チケパス™

スマホアプリで簡単に / バス定期券の購入ができます

いつもの定期券 / いつでもどこでも購入できる

証明書申請は スマホで撮って送るだけ

カードがコンビニでお支払い

入力操作はかんたん

定期券購入アプリ チケパス。のダウンロードを開始しました

App Store | Google Play

クレジットカードのタッチ決済の事例（富士急グループ）



事業4-2 自動運転技術等を活用した新たなモビリティの研究・検討

【事業設定の背景】

- ・自動運転については、近年急速な技術進展が見られ、県内近隣市町で実験運行も実施されています。自動運転の技術は、運転手不足に悩む郊外部での移動手段の確保、観光での活用などが期待されていますが、技術的な課題は多い状況です。
- ・伊東市においても、今後の地域交通や観光での活用を見据え、情報収集の継続が求められます。

【事業内容、スケジュール、実施主体】

<事業内容>

- ・自動運転の技術動向や実験運行等の情報収集を継続し、地域交通や観光での活用方法を研究。

<実施スケジュール>

- ・計画期間を通して継続的な研究・検討の実施を目指す。

実施 スケジュール	2025 年度 (R7)	2026 年度 (R8)	2027 年度 (R9)	2028 年度 (R10)	2029 年度 (R11)	2030 年度 (R12)
	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■

■■■■■ 検討期間 ■■■■■ 実施期間

<実施主体>

伊東市

自動運転に関する取組み例（沼津市）

